

## 平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社 ACKグループ 上場取引所 東  
 コード番号 2498 URL http://www.ack-g.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 秀則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括本部長 (氏名) 森田 信彦 TEL 03-6311-6641  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	37,411	15.3	1,457	81.1	1,293	46.3	730	36.2
29年9月期第3四半期	32,447	4.3	804	12.5	884	59.8	536	49.9

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 772百万円 (27.4%) 29年9月期第3四半期 606百万円 (69.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	132.34	—
29年9月期第3四半期	100.63	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	40,481	9,360	23.1
29年9月期	30,365	8,647	28.5

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 9,360百万円 29年9月期 8,647百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	22.50	22.50
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日(平成30年8月14日)公表いたしました「平成30年9月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	10.5	1,900	32.5	1,700	22.7	1,000	17.3	181.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日(平成30年8月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	6,080,920株	29年9月期	6,080,920株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	503,714株	29年9月期	602,452株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	5,523,043株	29年9月期3Q	5,331,519株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移してまいりました。また、米国及び欧州並びにアジア地域においても景気回復の動きが続いておりますが、米国の通商政策の動向や、北朝鮮の政治的動向の不透明感等など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況に対処すべく、当社グループでは重点的に取り組む事業を4つの個別事業(インフラ保全、防災、交通、再生可能エネルギー)と、4つの統合事業(地域活性化、海外新規開拓、民間開発、事業経営)に定め、国内公共市場、国内民間市場及び、海外市場の各市場で推進しております。

市場別の受注状況は、国内公共市場におきましては、引き続き防災・減災関連のハード・ソフト対策業務、道路・河川・港湾等の維持管理業務の受注が堅調に推移するとともに、地方創生関連の業務の受注も増加いたしました。

国内民間市場におきましては、首都圏における再開発業務の受注が堅調に推移いたしました。このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間における国内市場の受注高は、279億85百万円(前年同四半期比15.9%増)となりました。

海外市場におきましては、インドやフィリピン等、需要の高い開発途上国でのインフラ整備を中心とした事業が堅調に推移し、海外市場の受注高は、346億43百万円(前年同四半期比45.6%増)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は626億29百万円(前年同四半期比30.6%増)、売上高は374億11百万円(同15.3%増)、営業利益は14億57百万円(同81.1%増)となりました。経常利益は為替差損1億71百万円を計上した影響等により12億93百万円(同46.3%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億30百万円(同36.2%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (インフラ・マネジメントサービス事業)

インフラ・マネジメントサービス事業の売上高は、314億22百万円(前年同四半期比17.3%増)となりました。営業利益は12億15百万円(同128.4%増)となっております。

#### (環境マネジメント事業)

環境マネジメント事業の売上高は、52億36百万円(前年同四半期比5.1%増)となりました。営業利益は、89百万円(同40.0%減)となっております。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は、13億7百万円(前年同四半期比1.4%増)となりました。営業利益は1億14百万円(同6.1%増)となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資金調達の状況)

当社グループの業務の工期は3月に集中しており、例年納品後の4月、5月に売上代金の回収が集中するため、3月まで運転資金の需要が大きく、借入残高も3月まで段階的に増加する傾向にあります。この資金需要に備えるためコミットメント・ライン契約のほか当座借越契約及び短期借入契約の締結、並びに私募債の発行により借入枠を確保しております。

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は404億81百万円と、前連結会計年度末に比べ101億15百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加50億88百万円、及び未成業務支出金の増加22億70百万円によるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は311億20百万円と、前連結会計年度末に比べ94億2百万円増加いたしました。これは主に、未成業務受入金の増加116億57百万円によるものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は93億60百万円と、前連結会計年度末に比べ7億13百万円増加いたしました。これは当第3四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益を計上し、利益剰余金が増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、前期から引き続き、国内外とも順調に受注高を拡大し、生産面においても原価管理、品質管理の強化に努めてきた数年の施策の効果が現れ、プロジェクトが順調に進捗いたしました。これらの結果、当初の予想に比べて売上高が増加し、これに伴い営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が当初の業績予想を上回る見込みとなりましたので、平成29年11月14日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成30年8月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,299,803	10,388,480
受取手形及び売掛金	7,069,705	7,710,936
商品	51,829	50,482
未成業務支出金	10,371,788	12,641,892
繰延税金資産	823,609	988,284
その他	1,542,201	3,251,176
貸倒引当金	△25,188	△33,064
流動資産合計	25,133,749	34,998,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	440,401	466,783
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	561,848	613,459
土地	304,281	304,281
その他(純額)	122,242	157,301
有形固定資産合計	1,428,774	1,541,826
無形固定資産		
ソフトウェア	330,878	431,695
のれん	123,676	34,737
その他	174,380	59,332
無形固定資産合計	628,934	525,765
投資その他の資産		
投資有価証券	506,424	560,559
関係会社株式	439,900	507,338
長期貸付金	30,322	24,544
差入保証金	992,307	1,062,942
繰延税金資産	92,354	117,597
破産更生債権等	39,993	36,918
退職給付に係る資産	848,043	898,930
その他	264,892	243,428
貸倒引当金	△39,779	△36,703
投資その他の資産合計	3,174,460	3,415,555
固定資産合計	5,232,169	5,483,146
資産合計	30,365,918	40,481,336

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,671,014	2,727,636
短期借入金	1,119,095	263,010
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
未払法人税等	711,943	453,346
未成業務受入金	10,567,016	22,224,615
賞与引当金	1,132,878	1,367,253
受注損失引当金	785,126	803,506
その他	3,542,542	2,010,258
流動負債合計	20,539,616	29,854,628
固定負債		
社債	5,000	—
長期借入金	91,223	—
退職給付に係る負債	116,330	113,827
役員退職慰労引当金	382,172	428,638
繰延税金負債	434,085	459,930
その他	150,323	263,927
固定負債合計	1,179,134	1,266,323
負債合計	21,718,751	31,120,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	727,929	727,929
資本剰余金	822,747	822,747
利益剰余金	6,953,554	7,557,158
自己株式	△276,157	△207,948
株主資本合計	8,228,073	8,899,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,200	165,716
為替換算調整勘定	14,303	△2,415
退職給付に係る調整累計額	283,589	297,194
その他の包括利益累計額合計	419,093	460,496
純資産合計	8,647,167	9,360,383
負債純資産合計	30,365,918	40,481,336

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	32,447,971	37,411,732
売上原価	24,892,368	28,851,671
売上総利益	7,555,602	8,560,061
販売費及び一般管理費	6,750,731	7,102,229
営業利益	804,870	1,457,831
営業外収益		
受取利息	11,298	4,664
受取配当金	32,797	29,455
保険配当金	32,275	20,661
為替差益	28,558	—
その他	36,830	20,944
営業外収益合計	141,759	75,726
営業外費用		
支払利息	19,222	25,291
支払手数料	1,965	1,797
為替差損	—	171,526
固定資産売却損	11,210	—
その他	30,112	41,315
営業外費用合計	62,510	239,930
経常利益	884,119	1,293,627
特別利益		
固定資産売却益	71,541	—
特別利益合計	71,541	—
税金等調整前四半期純利益	955,660	1,293,627
法人税、住民税及び事業税	859,278	756,542
法人税等調整額	△440,120	△193,839
法人税等合計	419,157	562,702
四半期純利益	536,503	730,925
親会社株主に帰属する四半期純利益	536,503	730,925

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	536,503	730,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,187	44,516
為替換算調整勘定	2,961	△16,718
退職給付に係る調整額	9,712	13,604
その他の包括利益合計	69,862	41,402
四半期包括利益	606,365	772,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	606,365	772,327

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員持株会E S O P信託)

当社は、従業員への福利厚生を目的として、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

(1) 取引の概要

従業員持株会信託型E S O P (以下「本制度」といいます。)は、福利厚生の一環として、当社グループの持株会を活性化して当社グループ社員の安定的な財産形成を促進すること、ならびに、当社グループ社員の会社経営への参画意識の向上と業績向上へのインセンティブ付与により、当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的に導入したものであります。

当社は、従業員持株会の会員のうち、一定の受益者要件を充足する者を受益者とする「従業員持株会信託(他益信託)」(以下「持株会信託」といいます。)を設定しております。

従業員持株会が信託契約後7年間にわたり取得すると見込まれる数の当社株式を借入により調達した資金で一括して取得しております。

本制度導入後、従業員持株会による当社株式の取得は持株会信託より行っております。

従業員持株会による当社株式の取得を通じ、持株会信託に売却益相当額が累積した場合には、これを残余財産として受益者要件を充足する従業員持株会の会員に対して分配いたします。一方、当社株価の下落により持株会信託が借入債務を完済できなかった場合には、当社が借入先銀行に対して残存債務を弁済いたします。その際、従業員持株会の会員がその負担を負うことはありません。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度115,328千円、180,200株、当第3四半期連結会計期間47,040千円、73,500株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度91,223千円、当第3四半期連結会計期間一千円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメント サービス	環境 マネジメント	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,781,743	4,795,195	871,033	32,447,971	—	32,447,971
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,500	188,466	418,361	622,328	△622,328	—
計	26,797,243	4,983,661	1,289,395	33,070,299	△622,328	32,447,971
セグメント利益	532,073	149,885	108,026	789,985	14,885	804,870

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	789,985
セグメント間取引消去	292,742
全社費用	△277,857
四半期連結損益計算書の営業利益	804,870

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 4. 地域に関する情報

売上高

(単位:千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
22,239,654	7,251,080	1,012,576	1,944,659	32,447,971

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメント サービス	環境 マネジメント	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,409,640	5,103,272	898,819	37,411,732	—	37,411,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,264	132,992	408,206	554,462	△554,462	—
計	31,422,904	5,236,265	1,307,025	37,966,195	△554,462	37,411,732
セグメント利益	1,215,289	89,997	114,568	1,419,855	37,976	1,457,831

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,419,855
セグメント間取引消去	299,617
全社費用	△261,641
四半期連結損益計算書の営業利益	1,457,831

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 4. 地域に関する情報

売上高

(単位:千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
23,763,245	9,943,841	1,099,451	2,605,194	37,411,732

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。